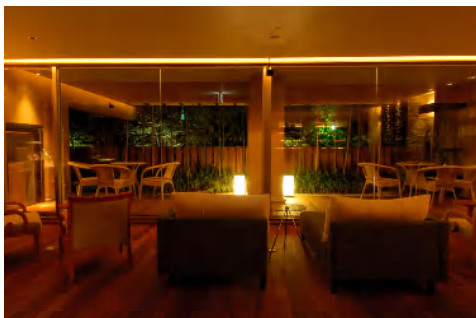
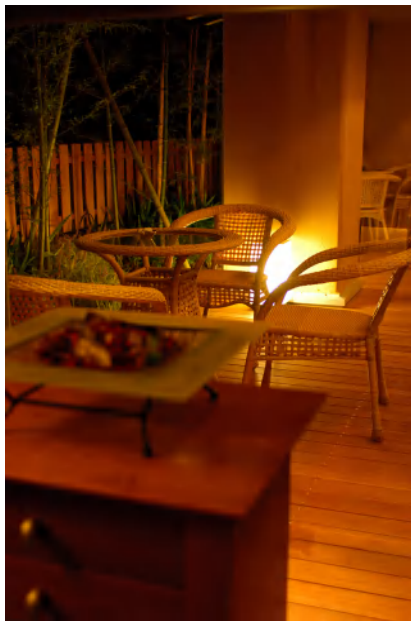


新・和風クラシカル、進化する日本の宿

石川県・山代温泉【瑠璃光】

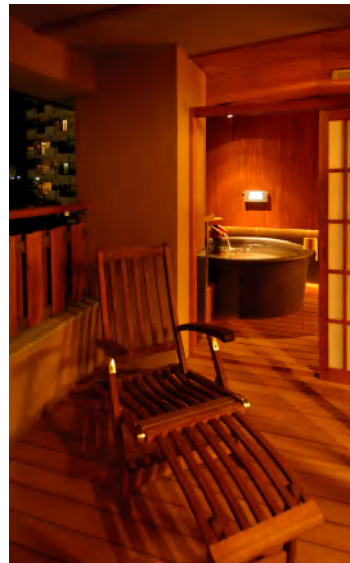
【記事投稿者：代表取締役 萬谷正幸】

山代温泉の魅力は、浴衣姿で温泉街をぶらりと歩く「そぞろ歩き」です。以前は団体客が多い歓楽型温泉観光地というイメージでしたが、今では「九谷焼のふる里、山代温泉」と街を挙げてアピールし、商店街とも協力しながら街並み景観づくりにも取り組み、女性客や家族客が街並みを散策する姿も年々増えてきています。



当館はそんな山代温泉街のはずれに位置し、今年で開業18年目を迎えました。「新・和風クラシカル、進化する日本の宿」のコンセプトのもと次の20年の節目に向け1年ごと進化をしつづけています。加賀友禅作家初代由水十久の童女をイメージキャラクターに、氏の愛唱歌であった平安後期の今様歌謡集「梁塵秘抄（りょうじんひしょう）」の一節、「遊びをせむとや生まれけん、戯れせむとや生まれけむ」をキーフレーズとして、加賀の伝統文化に、氏の独自の優しい作風でイメージビルドに取り組んできましたが、これからのセカンドステージは、これまでのイメージ資産を大切にしながらも、大きく様変わりした社会情勢や生活様式の中で、さらに新しい温泉旅館の魅力を提案していきます。

温泉旅館本来のおもてなしの原点を大切に、新しい瑠璃光のシンボル空間として人気の星の棟をさらにグレードアップさせ、源泉露天風呂付きの客室も大幅に加えて、2年前に「新・星の棟」としてオープンしております。デザイン、設備、調度品、それぞれに瑠璃光からの新しいくつろぎ空間の提案や、「新・星の棟」だけの専用ラウンジや様々なおもてなしもご用意しております。



お食事も同時に新設したオートクチュールダイニング「旬彩・仁三郎」では、作り手の顔が見える空間で、地元九谷焼作家の器と地元でとれた食材を中心に、旬の味わいをお客様本位でお楽しみいただける、新しい食の提案をしています。

これからも加賀温泉郷を代表する温泉旅館として、全国区で瑠璃光のブランドイメージを確立し、高付加価値型の高単価に見合う上質のおもてなしを進化させながら、常に時代を先取りした魅力的な温泉旅館としてのステータスの維持向上に努めます。



石川県加賀市 山代温泉

瑠璃光

〒922-0242 石川県加賀市山代温 19-58-1

Tel : 0761-77-2323